

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		追手門学院大学		設置者名	学校法人 追手門学院			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成25年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
経済学部	経済学科	200人	中一種免(社会)	平成12年度	185人	3人	3人	2人
			高一種免(地理歴史)	平成12年度			3人	
			高一種免(公民)	平成12年度			2人	
			高一種免(商業)	平成12年度			0人	
	ヒューマンエコノミー学科	140人	中一種免(社会)	平成17年度	137人	0人	0人	0人
			高一種免(地理歴史)	平成17年度			0人	
			高一種免(公民)	平成17年度			0人	
			高一種免(商業)	平成17年度			0人	
経営学部	経営学科	200人	中一種免(社会)	平成12年度	194人	2人	1人	0人
			高一種免(公民)	平成12年度			2人	
			高一種免(商業)	平成12年度			1人	
			中一種免(社会)	平成17年度			0人	
	マーケティング学科	200人	高一種免(公民)	平成17年度	210人	4人	1人	0人
			高一種免(商業)	平成17年度			3人	
			高一種免(情報)	平成17年度			2人	
			中一種免(社会)	平成18年度			0人	
心理学部	心理学科	200人	高一種免(公民)	平成18年度	186人	4人	4人	0人
社会学部	社会学科	150人	中一種免(社会)	平成18年度	141人	9人	7人	2人
			高一種免(公民)	平成18年度			9人	
国際教養学部	アジア学科	100人	中一種免(社会)	平成19年度	91人	1人	1人	0人
			中一種免(中国語)	平成19年度			1人	
			中一種免(国語)	平成23年度				
			高一種免(地理歴史)	平成19年度			1人	
			高一種免(公民)	平成19年度			1人	
			高一種免(中国語)	平成19年度			1人	
			高一種免(国語)	平成23年度				
	英語コミュニケーション学科	130人	中一種免(英語)	平成19年度	128人	6人	5人	1人
			高一種免(英語)	平成19年度			6人	
入学定員合計		1,320人	合計		1,272人	29人	54人	5人

大学名		追手門学院大学(大学院)		設置者名	学校法人 追手門学院			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成25年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
経済学研究科	経済学専攻	15人	中専免(社会)	平成2年度	4人	0人	0人	0人
			高専免(公民)	平成6年度			0人	
経営学研究科	経営学専攻	15人	中専免(社会)	平成18年度	11人	0人	0人	0人
			高専免(公民)	平成18年度			0人	
			高専免(商業)	平成18年度			0人	
			高専免(情報)	平成19年度			0人	
心理学研究科	心理学専攻	25人	中専免(社会)	平成20年度	15人	0人	0人	0人
			高専免(公民)	平成20年度			0人	
文学研究科	社会学専攻	5人	中専免(社会)	平成2年度	0人	0人	0人	0人
			高専免(公民)	平成6年度			0人	
	中国文化専攻	5人	中専免(社会)	平成2年度	1人	0人	0人	0人
			高専免(地理歴史)	平成6年度			0人	
			高専免(公民)	平成6年度			0人	
	英文学専攻	5人	中専免(英語)	平成2年度	1人	0人	0人	0人
高専免(英語)			平成2年度	0人				
入学定員合計		70人	合計		32人	0人	0人	0人
備考	<p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成26年4月1日現在の名称・定員である。</p> <p>・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p>							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成26年6月19日（木）

実地視察大学：追手門学院大学

実地視察委員：宮崎英憲委員、関戸英紀委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程について、教職課程認定基準等を満たしていない点があるため、制度を再確認の上、速やかに是正すること。
- 施設・設備等は充実しており、今後の教職指導についても積極的な取組が見られた。引き続き、教員養成課程の質の維持及び向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 各学部、学科等において、ディプロマポリシー等により教育理念を明確に示していることは評価できるが、当該理念に対応する教職課程が構成されていない。各学科等の理念を反映した教職課程となるよう、開設科目、実施体制を見直すこと。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 「教科に関する科目」については、自学科での開設を原則とする一方、教職課程の内容の水準の維持・向上等を図る観点から、教育職員免許法施行規則に定める各科目区分の半数までは他学科等及び共通開設の授業科目を充てることを可能としているが、教職課程を有する全学科等において、科目区分の半数を超えて他学科又は共通開設の授業科目を充てている。教職課程認定基準を満たすように速やかに是正すること。
- 開放制の原則における教職課程については、各学科の専門科目を履修することで各教科の専門性を高めることを期待されている一方、貴学における課程認定の申請時は各学科の専門科目を含めて申請しているにもかかわらず、学則や学生向けの手引き（STUDY GUIDE）等には卒業要件外に定められた免許状取得のための共通開設科目（一般的包括的科目を含む）のみを履修すれば免許状を取得できる旨の記載がある。今後、免許教科の専門的知識・技能を確実に修めることができるように、教職課程の編成及び履修指導を速やかに是正すること。
- 学習指導要領を参考書又はテキストとして定めていない授業科目が散見された。良いシラバス（「国語科教育法Ⅰ」等）を基に、教職課程に必要な授業内容を網羅しつつ、学生にわかりやすいシラバスを作成するよう努めること。

3. 教育実習の取組状況

- 教育実習については、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣において実習先を確保することが望ましい。引き続き、地元教育委員会や学校との連携を進め、近隣の学校における実習先の確保に努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 学生向けの手引き（STUDY GUIDE、履修規程等）において、認定を受けていない学科に所属する学生が、他の学科において認定を受けている免許状を取得することを積極的に促す旨の記載が見受けられたため、記載方法を是正すること。
- 卒業者に対する免許状取得者数、教員就職者数が少ないことから、新設された教職支援センターの利用を啓発する等、指導体制の刷新も踏まえつつ学生への働きかけを促進していただきたい。特に大学院生への支援も怠らないよう留意いただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 学校ボランティア等、貴学の学生に対する近隣の学校の評判も良く、その取組は評価できる。一方、参加する学生が少ないため、部活動や校外学習の支援等、短期に実施できる取組も活用し、規模の拡大に努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 施設・設備については適切に整備されている。
- 教職関連図書についてもおおむね充実しているが、教職支援センター、図書館等、分散して配置されているように見受けられた。学生への啓発を促進する又は学生が利用しやすいよう配置を再考していただきたい。また、教職を目指す学生が手に取りやすい月刊誌等を一層充実していただきたい。

7. その他特記事項

- 特になし